東京都立葛西南高等学校　令和3年度選択世界史A年間授業計画

教科：（地歴）科目：（3年選択世界史A）単位数：（2）単位　対象：（第3学年希望者）

教科担当者：（3年山西　和夫㊞ ）

使用教科書：教科書名: 高等学校　改訂版　世界史A(第一学習社）

使用教材：教材名:グローバルワイド最新世界史図表（第一学習者）

	指導内容 【年間授業計画】	科目　選択世界史Ａ　の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	ガイダンス	前年度の復習、第1次世界大戦後から第2次世界大戦前まで概観する。	知・技 ワークシート・小テスト	2
	第一次世界大戦 （1）大戦勃発の背景	・第一次世界大戦の原因・経過・結果のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・第一次世界大戦が史上最初の大規模な総力戦であり、交戦国に多大な損害をもたらしたことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	2
5月	第二次世界大戦 （2）第一次世界大戦 （3）大戦後の世界	・第一次世界大戦の原因・経過・結果のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・第一次世界大戦が史上最初の大規模な総力戦であり、交戦国に多大な損害をもたらしたことを理解させる。・世界恐慌から第二次世界大戦勃発に至る過程を概観し、大戦の直接の原因がナチス＝ドイツの侵略にあったことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	4
6月	第二次世界大戦 （3）大戦の終結	・第二次世界大戦がもたらした人的・物的被害の甚大さに触れ、戦争がもたらす悲惨さについて考察させる。 ・戦局に重大な役割を果たした米ソ両国が、戦後の国際政治においても大きな影響力を持つようになったことに気付かせる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	2
	戦後世界の出発 （1）パクス＝アメリカーナ （2）冷たい戦争	・米英の主導で国際連合が結成されたことを理解させる。 ・米ドルを基軸通貨とする国際経済体制が形成されたことを理解させる。 ・戦後、米ソがそれぞれ勢力圏を形成したことを理解させる。 ・分割占領したドイツの管理をめぐる対立から、「冷たい戦争」が本格化したことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	2
7月	1学期期末考査			2

	指導内容 【年間授業計画】	科目　選択世界史Ａ　の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
9月	戦後世界の出発 （1）パクス＝アメリカーナ （2）冷たい戦争	・米英の主導で国際連合が結成されたことを理解させる。 ・米ドルを基軸通貨とする国際経済体制が形成されたことを理解させる。 ・戦後、米ソがそれぞれ勢力圏を形成したことを理解させる。 ・分割占領したドイツの管理をめぐる対立から、「冷たい戦争」が本格化したことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	4
			知・技・思 ワークシート・小テスト	
10月	戦後の東アジア （1）中華人民共和国の成立、朝鮮戦争 （2）日本の主権回復	・国共内戦の結果、「2つの中国」が生まれたことを確認させ、中華人民共和国の成立が東アジアにどのような影響を与えたかを理解させる。 ・朝鮮戦争が東西両陣営を巻き込んでの戦争となったことを理解させる。 ・朝鮮戦争を機にアメリカの対日政策が転換し、日本は西側陣営に加わり、国際社会に復帰したことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	4
	アジア諸国の独立 （1）東南アジア諸国の独立 （2）インドシナ戦争、南アジアの独立	・フィリピンやビルマのように平和裏に独立した国もあれば、インドネシアやベトナムのように宗主国との戦争になった国があったことを指摘する。 ・インドシナ戦争には冷戦が大きな影響を与えており、結果としてベトナム戦争につながったことを理解させる。 ・南アジアでは、独立運動の過程で国民会議派と全インド＝ムスリム連盟の間に対立が生じており、それがインド・パキスタンの分離独立につながったことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	2
11月	戦後の西アジア （1）西アジア諸国と中東戦争 （2）アフリカ諸国の独立	・現在まで続いているパレスチナ問題について、その政治的・歴史的・宗教的要因を理解させる。 ・第二次世界大戦後、アフリカ諸国は独立を達成したが、旧宗主国などの支配構造から脱却できず、政治的・経済的に困難な状況にあったことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	4
	第三世界の台頭とラテンアメリカ （1）第三世界の台頭 （2）ラテンアメリカ諸国の動き、広がる経済格差	・戦後、独立を達成したアジア・アフリカ諸国が、東西両陣営とは一線を画して第三世界を形成し、緊張緩和と平和共存を訴える役割を果たしたことを理解させる。 ・戦後のラテンアメリカ諸国の動きを、アメリカ合衆国との関係をおさえながら理解させる。 ・第三世界では、独立後もモノカルチャー経済から抜け出せない国が多く、南北問題が生じたことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	4
12月	2学期期末考査			2

	指導内容 【年間授業計画】	科目　選択世界史Ａ　の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
1 月	緊張緩和と多極化 （1）平和共存の動き （2）多極化時代の始まり	・スターリンの死とスターリン批判が冷戦に転機をもたらし、「雪どけ」の気運が高まったことを理解させる。 ・全面核戦争の危機が生じたことで、平和共存への動きが模索されたことを理解させる。 ・アメリカの経済的・軍事的援助により、西側諸国の経済復興が進み、アメリカの指導力が相対的に低下して多極化が進んだことを理解させる。	知・技・思 ワークシート・小テスト	4
	学年末考査			2
2 月				
3 月				